

《2012 年度日本老年医学会学術集会開催のご案内》

会員各位

時下、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。2012 年度第 54 回日本老年医学会学術集会は下記のとおり開催を予定いたしております。多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

第 54 回日本老年医学会学術集会会長 大庭 建三

会 期：2012 年 6 月 28 日（木）、29 日（金）、30 日（土）

会 場：東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内）

学会テーマ：超高齢社会における老年医学

プログラム

会長講演（6 月 28 日午後）

高齢者糖尿病管理のあり方

司会 大宮共立病院 妻島昌平
日本医科大学老年内科 大庭建三

招請講演 1（6 月 28 日午前）

Individualizing Diabetes Care for Older People.

司会 日本医科大学老年内科 大庭建三
University of Chicago Elbert S Huang

招請講演 2（6 月 29 日午前）

Geriatrics Medicine Education : Implication for Japan

司会 愛媛大学加齢制御内科学 三木哲郎
Division of Geriatrics, University of California Sandra Moody

特別講演 1（6 月 28 日午後）

ヒトは骨と共に老いる

司会 国立長寿医療研究センター 大島伸一
医療法人恵雄会 折茂 肇

特別講演 2（6 月 29 日午後）

東日本大震災における初期医療対応の問題と将来

司会 神戸大学医学系研究所 横野浩一
東京臨海病院 山本保博

公開シンポジウム（6 月 30 日午前）

超高齢社会における街（都市）づくり

司会 東京大学加齢医学 大内尉義
東京医科歯科大学老年内科 下門顕太郎

1. 何が求められているか？ 柏健康長寿都市計画の経験から
東京大学高齢社会総合研究機構 飯島勝矢
2. 千葉県柏市・健康長寿都市計画（ディベロッパの立場から）
三井不動産 S&E 総合研究所 椎名一博
3. 人口減少の超高齢社会におけるコンパクトな都市づくり
(株) 日建設計総合研究所 竹村 登
4. 超高齢化社会における町づくり—地方都市の場合
見附市長 久住時男
5. 超高齢化社会における街づくり—大都市の場合
東京都健康長寿医療センター 井藤英喜
6. 超高齢化社会を迎える被災地の復興計画
岩手県宮古市長 山本正徳

シンポジウム 1（6 月 28 日午前）（日本嚥下医学会とのジョイント・シンポジウム）

高齢者の嚥下障害、その評価と対応

司会 東京医科大学老年病科 岩本俊彦
浜松市リハビリテーション病院 藤島一郎

1. 超高齢社会における誤嚥性肺炎の現状
東北大学加齢医学研究所 大類 孝
2. 嚥下機能評価の実際とその解釈
京都府立医科大学総合医療・医学教育講座 山脇正永
3. 嚥下リハの実際、栄養管理も含めて
佐賀社会保険病院リハビリテーション科 本多知行
4. 嚥下障害患者における口腔ケアの意義
国立長寿医療研究センター歯科口腔先端診療開発部 角 保徳
5. 高齢者の誤嚥の対処—手術治療の立場から
九州大学耳鼻咽喉科 梅崎敏郎

シンポジウム 2（6 月 28 日午後）

高齢者の「サルコペニア」ならびに「虚弱」とその対策

司会 名古屋大学老年内科 葛谷雅文
国立長寿医療研究センター研究所 鈴木隆雄

1. 日本人高齢者の二重エネルギー X 線吸収測定法を用いたサルコペニアの解析
立命館大学スポーツ健康科学部 真田樹義
2. 日本人高齢者のバイオインピーダンス法を用いたサルコペニアの解析
大阪医科大学衛生学・公衆衛生学教室 谷本芳美
3. 疫学研究からのサルコペニアとそのリスク—特に栄養との関連
国立長寿医療研究センター研究所予防開発部 下方浩史
4. 高齢者の「サルコペニア」ならびに「虚弱」とその対策
東京都健康長寿医療センター研究所 金 憲経
5. サルコペニアに対する薬物治療の可能性—骨粗鬆症薬の検討から—
国立長寿医療研究センター整形外科 原田 敦

シンポジウム 3（6 月 29 日午前）

高齢者の医療の課題と展望

司会 国立長寿医療研究センター 大島伸一
国立長寿医療研究センター 鳥羽研二

1. 広い視野からの、高齢者医療の課題の整理
慶應義塾大学大学院 佐々木経世
2. 高齢者医療と介護保険に関する現状と展望。行政の立場から
厚生労働省老健局 宇都宮啓
3. 在宅医療に対するかかりつけ医の役割
東京都医師会会長 野中 博
4. 在宅医療、救急など高齢者医療の課題に対する慢性期医療協会の提案
日本慢性期医療協会会長 武久洋三
5. 都市の医療福祉再生プランによる課題解決の提案
東京大学高齢社会総合研究機構 辻 哲夫

シンポジウム4 (6月29日午前) (高齢者EBM委員会企画シンポジウム)

生活自立を指標とした生活習慣病の検査基準値

司会 東京大学加齢医学 大内尉義
東京都健康長寿医療センター 井藤英喜

1. 基調講演 検査基準値の考え方—医学における正常と異常—
国立長寿医療研究センター研究所予防開発部 下方浩史
2. 生活自立からみた生活習慣病の基準値
 - (1) 高血圧
大阪大学老年・腎臓内科学 大石 充
 - (2) 脂質異常症
東京大学老年病科 江頭正人
 - (3) 糖尿病
東京都健康長寿医療センター糖尿病・代謝・内分泌内科 荒木 厚
 - (4) メタボリックシンドローム
国立長寿医療研究センター代謝機能診療科 櫻井 孝
 - (5) 低栄養・高栄養
名古屋大学老年内科 葛谷雅文
 - (6) ロコモティブシンドローム：変形性関節症
東京大学整形外科 川口 浩

シンポジウム5 (6月29日午後) (倫理委員会企画シンポジウム)

高齢者の終末期医療をめぐる諸問題—これからの終末期医療はどうあるべきか？

司会 国立長寿医療研究センター内科総合診療部 遠藤英俊
東北大学加齢医学研究所 大類 孝

1. 過少あるいは過剰な医療とケアとは？—介護施設およびグループホーム診療の立場から
埼玉県認知症グループホーム・小規模多機能協議会および社会福祉法人サン 西村美智代
2. 過少あるいは過剰な医療とケアとは？—病院診療の立場から
東北大学病院老年科 小坂陽一
3. 無益もしくは有益な医療およびケアとは？
熊本大学生命科学研究部生命倫理学分野 門岡康弘
4. 患者の意志を尊重した医療およびケアとは？—意志決定能力を見据えて
東京大学死生学・応用倫理センター 会田薫子
5. 非がん患者の終末期における緩和医療とは？
国立長寿医療研究センター緩和ケア診療部 西川満則

シンポジウム6 (6月29日午後)

認知症の地域連携

司会 杏林大学高齢医学 神崎恒一

1. 三鷹・武蔵野市の取り組み
杏林大学高齢医学 長谷川浩
2. 地域支援体制作りの有用性の評価
国立長寿医療研究センター脳機能診療部 武田章敬
3. 認知症に対応できる地域包括ケアシステムの確立に向けて
東京都健康長寿医療センター研究所 粟田主一
4. 地域連携における精神科医療の役割
横浜市立大学附属市民総合医療センター 小田原俊成
5. 重度認知症例の身体合併症における現状
飯能老年病センター 木川好章

シンポジウム7 (6月29日午後)

「健康長寿診療ハンドブック」は健康長寿に貢献できるか？

司会 大阪大学老年・腎臓内科学 楽木宏実

1. ハンドブックが目指すもの：編集者の立場から
大阪大学老年・腎臓内科学 楽木宏実
2. 健康長寿政策の中での意思の位置づけとハンドブック役割
京都府立医科大学附属脳・血管系老化研究センター 渡邊能行
3. 日本医師会の目指す健康長寿にハンドブックはどのように貢献できるか
日本医師会常任理事 三上裕司
4. 老年医科・実地医家からの意見
金沢医科大学総合医療学 中橋 毅
5. 日本老年医学会はハンドブックをどう活用するか：教育の立場から
東京大学加齢医学 秋下雅弘
6. 日本老年医学会はハンドブックをどう活用するか：学術的立場から
京都大学人間健康科学系 荒井秀典

シンポジウム8 (6月29日午後)

高齢者糖尿病の管理—J-EDIT から得られたもの—

司会 東京都健康長寿医療センター 井藤英喜
日本医科大学老年内科 大庭建三

1. J-EDIT の目指したこと
東京都健康長寿医療センター 井藤英喜
2. 動脈硬化性血管障害のリスクと対応策
東京都健康長寿医療センター糖尿病・代謝・内分泌内科 荒木 厚
3. 身体活動量の意義
東京大学高齢社会総合研究機構 飯島勝矢
4. ADL 低下のリスクと対応策
国立長寿医療研究センター代謝機能診療科 櫻井 孝
5. 認知症のリスクと対応策
名古屋大学老年内科 梅垣宏行
6. 栄養摂取状況と改善策
四国大学生活科学部 鎌田智英実

シンポジウム9 (6月30日午前)

高齢者に対する医療提供の課題と対策

司会 東京大学加齢医学 秋下雅弘

1. 高齢者に対する治療方針決定の課題と対策
東京大学加齢医学 小島太郎
2. 老人保健施設における医療提供と今後の課題；地域包括ケアシステムにおける老人保健施設の役割と機能を踏まえて
全国老人保健施設協会 江澤和彦
3. 高齢者に対する医療提供の課題と対策
名古屋大学老年内科 葛谷雅文
4. 高齢者における胃瘻増設の現状と課題—医師・看護師へのアンケート調査からみえてきたこと—
京都大学人間健康科学科系 荻田美穂子
5. 高齢者に対する医療提供の優先順位
東京大学加齢医学 秋下雅弘

パネルディスカッション1 (6月28日午後)

フィールド医学からみた地域在住高齢者の健康

司会 京都大学東南アジア研究所 松林公藏
高知大学老年病・循環器・神経内科学 土居義典

1. 土佐長寿健診による予防医学
藍野病院内科 山本直宗
2. 機能的健康障害の関連因子—血管壁硬化と身体機能を中心として—
高知大学予防医学・地域医療学 宮野伊知郎
3. 抗うつスクリーニングと Advance Care Planning の適応可能性
京都大学東南アジア研究所 和田泰三

4. 高所地域高齢者の健康
総合地球環境学研究所 奥宮清人
5. 食からみた地域高齢者の健康—国際地域間比較—
京都大学社会健康医学 木村友美
6. ヒマラヤ・アンデス高所在住高齢者におけるうつ病
東京女子医科大学東医療センター内科 石川元直
7. ブータン王国におけるフィールド医学の実践
京都大学次世代研究者育成センター 坂本龍太

- 慶應義塾大学老年内科 広瀬信義
1. ウェルナー症候群から学ぶ老化機構
広島大学細胞分子生物学 嶋本 顕
2. 筋肉と神経のシナプスの老化（サルコペニア）の基礎研究
東京都健康長寿医療センター研究所 重本和宏
3. サルコペニア
愛媛大学加齢制御内科学 小原克彦
4. 基礎老化の所見の臨床への応用
慶應義塾大学老年内科 新井康通

パネルディスカッション2 (6月29日午後)

高齢者の災害医療

- 司会 金沢医科大学高齢医学 森本茂人
岐阜大学神経内科・老年学 犬塚 貴
1. 日本老年医学会の対応、そして改めて考える今後の課題
東京大学高齢社会総合研究機構 飯島勝矢
2. 一般救護者用・災害時高齢者医療マニュアルと海外への情報発信
北里大学感染制御科学科府 高橋 孝
3. 栄養面ならびにそれに関連する消化器疾患の対策と中長期管理
名古屋大学老年内科 葛谷雅文
4. 精神面への中長期対応
国立長寿医療研究センター行動・心理療法部 服部英幸
5. 避難初期の高齢者問題—肺炎は本当に増えたのか？
東北大学病院老年科 冲永壯治
6. 原発事故避難と暮らし・健康・命を考える
福島県立医科大学医療人育成・支援センター 石川和信

若手企画シンポジウム1 基礎研究 (6月29日午後)

筋骨格系の老化とその制御について

- 司会 東京大学加齢医学 小川純人
慶應義塾大学内分泌代謝内科学 竹田 秀
1. 骨の代謝と老化
国立長寿医療研究センター研究所 池田恭治
2. 骨リモデリングの制御機構の解明
東京医科歯科大学分子情報伝達学 中島友紀
3. 性ホルモン受容体による骨代謝調節
東京大学分子細胞生物研究所 今井祐記
4. コホート研究およびヒト組織分析をもとにした骨脆弱化モデルの確率とそのピットフォール
東京慈恵会医科大学整形外科 斎藤 充
5. サルコペニアに関する基礎研究の現状について
東京都健康長寿医療センター研究所 重本和宏
6. 皮膚細胞培養から軟骨を作る試み
京都大学 iPS 細胞研究所 妻木範行

パネルディスカッション3 (6月30日午後)(介護連携委員会企画)

専門職から老年科医への要望・注文・苦言：開かれた連携を目指して

- 司会 国立長寿医療研究センター内科総合診療部 遠藤英俊
日本介護支援専門員協会 鷲見よしみ
1. 看護師の立場から
青梅慶友病院 桑田美代子
2. ケアマネジメントと医療連携
日本介護支援専門員協会居宅支援部会 福岡奈代子
3. 専門職から老年科医への要望、注文、苦言 開かれた連携を目指して
滋賀県介護福祉士会 村田美穂子
4. 地域包括支援センターの実践から見た医療連携上の課題と今後の方向性
立川市社会福祉協議会地域生活支援課 山本茂樹

若手企画シンポジウム2 臨床研究 (6月29日午後)

高齢者のための再生医療～研究の現状と未来への展望～

- 司会 東京医科歯科大学歯学教育システム研究センター 金子英司
東京大学加齢医学 小島太郎
1. 脳梗塞に対する再生医療の現状とその未来
先端医療センター再生医療研究部 田口明彦
2. 加齢黄斑変性症に対する再生医療
神戸理化学研究所 万代道子
3. 細胞シートを用いた新しい心不全治療の現状と展望
大阪大学心臓血管外科 宮川 繁
4. 関節軟骨に対する再生医療
東京医科歯科大学軟骨再生学 関矢一郎
5. 尿失禁に対する再生医療
名古屋大学泌尿器科 山本徳則
6. 重症下肢虚血に対する再生医療
東京医科歯科大学歯学教育システム研究センター 金子英司

ワークショップ1 (6月30日午前)

老年医学教育のあり方を考える～学部教育から専門医教育まで～

- 司会 京都大学人間健康科学系専攻 荒井秀典
1. 学部教育
愛媛大学加齢制御内科学 三木哲郎
2. レジデントを対象とする卒後教育
杏林大高齢医学 神崎恒一
3. 専門医教育
国立長寿医療研究センター内科総合診療部 遠藤英俊
4. 実地医家の教育
大阪大学腎臓・高血圧内科学 楽木宏実
5. 高齢者救急
金沢医科大学高齢医学 森本茂人

Meet the Expert 1 (1～4:6月28日午前, 5～9:6月28日午後, 10～13:6月29日午前, 14～18:6月29日午後)

1. 高齢者の診かた
司会 千葉大学細胞治療内科学 横手幸太郎
京都大学人間健康科学系専攻 荒井秀典
2. 高齢者の総合機能評価と多職種連携
司会 国立長寿医療センター代謝機能診療科 櫻井 孝
杏林大学高齢医学 神崎恒一
3. 認知・行動障害
司会 東京医科大学老年病科 羽生春夫
東北大学加齢医学研究所 荒井啓行
4. 歩行障害と動作緩慢
司会 岐阜薬科大学薬物治療学 保住 功
岐阜大学神経内科・老年学分野 犬塚 貴

Agging Science Forum (6月28日午後)

エイジングサイエンスと抗加齢医学・医療

- 司会 愛媛大学加齢制御内科学 三木哲郎

5. 転倒と骨折

司会 国立障害者リハビリテーションセンター 江藤文夫
国立長寿医療研究センター臨床研究推進部 細井孝之

6. 高齢者の生活習慣病の管理

司会 加古川西市民病院 永田正男
千葉大学細胞治療学 横手幸太郎

7. 高齢者の心房細動の管理

司会 札幌医科大学保健医療学部 齋藤重幸
日本医科大学多摩永山病院 新 博次

8. 高齢者の慢性閉塞性肺疾患の管理

司会 東北大学加齢医学研究所 大類 孝
東京大学呼吸器内科 長瀬隆英

9. 口腔機能・嚥下機能障害

司会 杏林大学高齢医学 長谷川浩
東北大学内部障害学分野 海老原寛

10. 排尿・排便の障害

司会 国立長寿医療研究センター泌尿器科 岡村菊夫
杏林大学高齢医学 須藤紀子

11. 介護予防

司会 九州大学先端医療医学部門 大中佳三
国立長寿医療研究センター 鈴木隆雄

12. 高齢者の救急搬送、緊急入院が必要な病態

司会 神戸大学医学部総合内科 安田尚史
金沢医科大学高齢医学 森本茂人

13. 高齢者に多い感染症

司会 長崎大学第二内科 河野 茂
東京都健康長寿医療センター感染症科 稲松孝思

14. 栄養

司会 東京医科大学老年病科 櫻井博文
名古屋大学老年内科 葛谷雅文

15. 侵襲的検査における注意点

司会 名古屋大学医学部附属病院地域医療センター 鈴木裕介
藤田保健衛生大学総合診療内科 浅井幹一

16. 高齢者の外科治療—高齢者の周術期管理と予後—

司会 東京医科歯科大学教育研究システムセンター 金子英司
自治医科大学付属さいたま医療センター総合医学 長田 理

17. 退院支援と地域連携

司会 東京大学医学部附属病院総合研究センター 江頭正人
東京大学地域医療連携部 長野宏一朗

18. 高齢者の在宅医療

司会 東京女子医科大学東医療センター 大塚邦明
国立長寿医療研究センター在宅医療支援診療部 三浦久幸

ディベートセッション1 (6月30日午前)

在宅例の管理:「発熱」は入院精査すべきか在宅管理すべきか

司会 神戸大学医学系研究科 横野浩一

1. 「入院すべき」の立場で

神戸大学総合内科学 安田尚史

2. 「在宅でも可能」の立場で

祐ホームクリニック 武藤真祐

ディベートセッション2 (6月30日午前)

在宅医療の展望:在宅医療における大学病院の役割

司会 東京女子医科大学東医療センター 大塚邦明

1. 大学病院も在宅医療に参画すべきである

東京女子医科大学在宅医療部 山中 崇

2. 当院高度救命救急センターにおける高齢者に対する取り組み

日本医科大学付属病院高度救命救急センター 恩田秀賢

ノバルティス老化および老年医学研究基金 2009 年度研究助成 受賞者講演 (6月29日午前)

司会 東京大学抗加齢医学講座 井上 聡
秋田大学内分泌・代謝・老年医学分野 山田祐一郎

1. 抗加齢ドッグのデータを用いた脳・心血管系疾患および認知症発症予防に対する縦断研究

愛媛大学加齢制御内科学 伊賀瀬道也

2. 有機化合物に焦点をあてたアルツハイマー病の予防・治療薬の開発

金沢大学神経内科 小野賢二郎

3. エルドバ誘発性ジスキネジアと大脳基底核におけるシヌクレイン病理の関連性

東京都医学研究機構・東京都神経科学総合研究所 橋本 款

4. コレステロール代謝・輸送系制御機構による細胞機能・老化の解析

大阪大学遺伝子治療学 勝谷友宏

5. 老化・長寿関係遺伝子の遺伝素因が心・血管・腎疾患の成因に及ぼす影響の検討

大阪大学老年・腎臓内科 神出 計

日韓合同シンポジウム (6月28日午後)

Novel Approach for Aging-in-Place: Helping and Promoting Functional Independence

司会 京都大学探索医療センター探索医療診療部 横出正之
Inje University School of Medicine Dong Woo Lee

(日本側演者)

- ・名古屋大学附属病院地域医療センター在宅管理医療部 鈴木裕介
- ・ 東京大学加齢医学 小川純人
- ・ 東京都健康長寿医療センター研究所 高橋龍太郎

市民公開講座1 (6月30日午後)

認知症の予防と治療薬の現状

司会 愛媛大学加齢制御内科学 三木哲郎
京都大学薬学研究科 杉本八郎

市民公開講座2 (6月30日午後)

司会 日本医科大学老年内科 大庭建三

1. “無頼から作家, そして楽しき老年期”を語る 安部 譲二
2. 超高齢化社会で大きく転換する人生・社会と老年病専門医の役割 日本医科大学医療管理学 長谷川敏彦

スポンサー共催企画1 (6月30日午後)

認知症治療の実践セミナー

総合司会 東京大学加齢医学 大内尉義
鳥取大学生体制御学 浦上克哉

1. 認知症を理解するために必要な老年医学の知識

司会 東京大学加齢医学 大内尉義
1) 高齢者医療における認知症の位置づけ 名古屋大学老年内科 葛谷雅文

2) 糖尿病と認知症

秋田大学老年科 山田祐一郎

2. 認知症診療の実際

司会 東京大学加齢医学 大内尉義
鳥取大学生体制御学 浦上克哉

1) 認知症診療に必要な基礎知識

鳥取大学生体制御学 浦上克哉

2) 問診と神経学的診察

- 日本医科大学神経内科 北村 伸
3) 画像所見の診かたと他の診断ツール
東京医科大学老年病科 羽生春夫
4) 治療と説明, 認知症ケアについて
香川大学精神神経科 中村 祐

スポンサー共催企画2 (6月30日午後)

高齢者の漢方実践セミナー「なぜ超高齢者に漢方は必要か」
司会 京都大学病院探索医療センター 横出正之
順天堂大学病院管理学 小林弘幸

スポンサー共催企画3 (6月30日午後)

高齢者におけるインスリン治療戦略

司会 東京都健康長寿医療センター糖尿病・代謝・内分泌内科 荒木 厚

1. 久山町研究における糖尿病の疫学研究

九州大学病態機能内科学 土井康文

2. 日本人2型糖尿病の最適なインスリン療法を考える

順天堂大学代謝内分泌学 弘世貴久

ランチョンセミナー

アフタヌーンセミナー

高齢者医療研修会 (座学形式)

学術集会参加費

会員・非会員 : 12,000円 (医師・企業・コメディカル・その他問わず)

学部学生・初期研修医 : 5,000円 (証明書を御提示下さい, 大学院生は除く)

公開シンポジウム : 参加費無料

市民公開講座 : 参加費無料

※高齢者医療研修会 (座学形式・ワーキング形式) の詳細は次頁